

要請番号 (JL52722A11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ナミビア	G182 小学校教育	20～45 歳のみ	個別	交替 6代目	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・芸術・文化省

2) 配属機関名 (日本語)

エロンゴサ小学校

3) 任地 (エロンゴ州 ウサコス) JICA事務所の所在地 (ウィントフック)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は首都から西(大西洋)に向かう幹線道路の中間地点、ウサコス町(人口約3500名)にある小学校。同地域は山に囲まれ、ナミビア国内でも暑さが厳しい地域として知られている。配属先は町の郊外に位置し、グレード0～7(年長クラス～中学1年に相当)の生徒が通う。全校生徒は約500名、各学年は1～2クラス、1981年に設立され、全教員数は17名、年間予算は約100万円。2009年から6代に渡り隊員(小学校教育)を受けいれており、協力隊事業に対する理解は高い。現在、隊員(2021-1)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ナミビアの教育現場の課題として、教員の授業スキルが十分とは言えず、生徒への発問も、考えさせる間もなく答えを伝えて一方的な説明となったり、板書をノートに写すことが授業の中心となっていることがあげられる。特に算数では低学年時に数の概念が習得できず、高学年になっても指を使ってカウントする児童が散見され、学習内容が理解できず、算数の単位を落として留年する児童も多い。また、小学校修了時(グレード7年生)の算数の習熟度は41%とかなり低い状況である。「第5次国家開発計画」では「能力が高く、健全な人材育成」が目標の一つと掲げられ、基礎教育の分野では識字率と計算力の強化が戦略の一つとなっており、現状を改善し、教育の質の向上に向けた支援が求められ要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 初年度はグレード4～7(小4年～中1程度)の算数の授業を担当する。(数の概念の定着に向け、教具を取り入れた生徒が分かりやすい授業を行う。) 2年目からは、現地教員と共にグレード1～3年生(小1～3年)の算数を指導予定。
- 同僚教員の教授能力強化に向けたサポートを行う。(教材を利用した授業方法の紹介や教材作成のアドバイスなど)
- 可能であればコンピュータクラス(基本的な操作方法指導)や体育の担当、感染予防に向けた手洗い指導などの衛生教育の実施も期待されている。
- 市内の小学校や中学校に派遣される隊員との連携活動が期待されている。(教員向け研修やPCの授業など協働しながら実施することを想定。)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務機器一式(コピー機、プリンター、プロジェクター)はあるが、指導教材は十分にはないため、現地の物品とアイディアで制作が必要。

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長 男性 50代 大学卒

同僚教員 12名(男性3名/女性9名) 20～50代

うち、算数教員 1名(男性、教員経験13年)
秘書、校務員 5名
グレード1～7の生徒(小学校1年生～中学校1年生相当)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭）[学歴]：（ ）備考：
[性別]：（ ）備考：[経験]：（指導経験）備考：指導に求められるため。
[参考情報]：
・指導経験は1年以上が望ましい。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候）気温：（10～40℃位）[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）[水道]：（安定）

【特記事項】

現在、ウサコス町の公立小学校(2校)にて海外協力隊が活動中。引き続き複数代に渡り協力隊員を派遣し、生徒の算数・数学の習熟度の向上と教員の指導の質の向上を目指した隊員派遣を実施中。